

どんぐい村の こみ・すく通信

令和 8年 2月 10日発行 令和7年度 第22号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

小学校・校内スケート記録会

更別小学校と上更別小学校では、今年度も保護者の皆様の絶大なるご協力を得て、グラウンドにスケートリンクを造成しました。造成時には、降雪の量や気温等の関係で、両校共に、いろいろなご苦労があったようです。ありがとうございました。

そのお陰で、スケート授業は順調に進み、両校共に、校内でのスケート記録会を、1月の最終週に無事終えることができました。



▲1月26日(月)の上更小スケート記録会(全校)



▲1月27日(火)の更小スケート記録会(高学年)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その16>

小学5・6年「さらべつほーぷ授業」

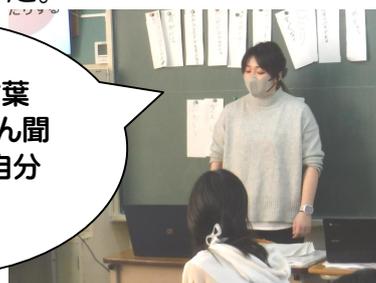
1月28日(水)に、村内2校の小学校が連携して、5・6年生が更別小学校で「さらべつほーぷ」の授業を受けました。以下に、各学年ごとの授業の様子をお知らせします。

5年生「それぞれがもつ個性(自分らしさ)について知ろう」

授業者は、及川ひとみさん(看護師)で、2名のほーぷメンバーがサポートをしてくれました。前半は、「人にはいいところと苦手なところがあり、それは人それぞれ違いがあることに気づく」をねらいとした授業でし

た。「鬼滅の刃」のキャラクターをつかって、その人物の性格や特徴を話し合うことから始まりました。後半は、「自分の特徴を受け止め、言葉が自分や相手に与える影響に気づく」がねらいの授業でした。自分の「取扱説明書」をつくる活動や『ことばのかたち』という絵本を聞く等を通じて、「言葉は、刃にも味方にもなる」「自分を大切にすること等」を学びました。

人に言った言葉
を、一番たくさん聞
いているのは自分
です。



6年生「もうすぐ中学生」

授業者は、宝輪祐子さん(村教育長)で、4名のほーぷメンバーがサポートをしてくれました。もうすぐ中学生になることを意識して、前半は、「良い言葉について考え、中学校入学に向けての心構えをもつ」ことを課題に。後半は、「ジョハリの窓で、自分や友達を新たな視点で理解する」ことが課題でした。

前半の、中学校生活をイメージする学習では、実際に中学校の先生から話を聞いたり、中学生のビデオメッセージを聞いたりすることができ、子どもたちの関心は高まっていました。後半のグループワークでも、主体的に活動し、お互いの長所を、笑顔で語り合う子どもたちの姿が印象的でした。

中学生に向けて、
もっと見方考え方を
を広げましょう。



中学校の亀谷です。これは、生徒が自主的に作った学級通信です。中学校では、自分たちで考えて行動することが多くなります。夢をもって、中学校に来て下さい。